

赤井悪右衛門

「明智光秀の天敵だった男」

今年のNHK大河ドラマは、明智光秀が主人公です。織田信長に見出された光秀は、政治や軍事、外交に才能を発揮し、織田家の中でも異例の出世をとげた人物です。

この光秀の天敵と呼ばれた男が、丹波国黒井城（兵庫県丹波市）の城主であった赤井直正です。直正は通称の「悪右衛門」が示すとおり、勇猛な武将でした。天正3（1575）年、信長から丹波平定を命じられた光秀が、大軍で黒井城を攻めますが、直正の戦術の前に敗北しています。その後、直正は戦国大名の毛利氏らと同盟を結び、反織田勢力の一翼を担いますが、天正6（1578）年、病により死去します。

直正を失った赤井氏は、幼少の嫡男直義が跡を継ぎ、悪右衛門を名乗ります。しかし勢力は衰え、翌年に黒井城は光秀によって攻め落とされました。逃げ延びた直義は、名前を「秋野金左衛門」と改め、浪人となります。この直義を召し抱えたのが、藤堂高虎でした。

慶長15（1610）年、高虎は直義に伊賀で千石を与え、名前を勇名で馳せた「赤井悪右衛門」に戻させました。この高虎の恩に報いるため、



▲赤井家住宅（上野忍町）

直義は大坂の陣で奮戦、その子孫も幕末まで藤堂藩に仕えることとなります。

伊賀での赤井氏の屋敷は、江戸初期の城下町絵図では西之丸の外堀端、現在の上野西大手町に見えます。その後、数度の屋敷替えを経て、明治初期の絵図では上野忍町に確認できます。

この上野忍町の武家屋敷「赤井家住宅」は、平成22（2010）年9月、主屋や長屋門などが国登録有形文化財に指定され、同年12月には赤井氏から市へと寄贈されました。

武家屋敷は、戦国乱世に光秀と渡り合った直正の末裔が、江戸の泰平の世に伊賀の地で得た暮らしぶりを今に伝えていきます。

文化財課歴史資料係

☎ 52・4380 FAX 52・4381

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

想像力を働かせて ー保育幼稚園課ー

人と人が気持ちよく過ごせるようにと考えるとき、「言葉」はとても大事なものであると思います。困っているときに「どうしたのですか?」「大丈夫ですか?」と声をかけられると安心してほっとした気持ちになります。仕事を終えたときに「ありがとう」「お疲れさま」という言葉に達成感を得られます。反対に同じような言葉でもそのときの状況によって心の中がざわめいたり落ち込んだりするときがあります。言葉は人を元気にすることも、傷つけることもあるのです。

関わりの中で、人は次第に「一人ひとりの生活や考え方、価値観が違うのは当たり前」ということに気付いていきます。しかし、それでも自分の考えを中心に言葉をかけたり、自分の生活の範囲にないものを避けたり違和感を抱く傾向があります。その結果、人は無意識に言葉で相手を傷つけてしまうことが起こってきます。自分にとっては大丈夫と思った

言葉や、その場の雰囲気では何気なく出た言葉が相手にとっては辛いことだったりするのです。場合によっては、多数派の集団で少数派を攻撃してしまっていることもあるかもしれません。

また、人は相手が何に悩んでいるか、どんなことに傷ついているか、その人の心の中までを知ることができません。悲しい時にそっとしておいてほしい、声をかけて励ましてほしいなど、相手に合った対応はそれぞれです。やはり、普段からいろいろな場面で「相手はどう思っているのだろう、何を感じているのだろう」と想像力を働かせて言葉をかけていくことで、少しでも相手に近づくことができると思います。

そうやって言葉をかけること、それが人と人がつながっていくために大切なことなのではないでしょうか。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9684 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



## 芭蕉翁記念館だより

芭蕉さんは、身近な生き物を愛し、多くの句を残しました。そのなかでも最も多く詠まれたのが、夏を代表する鳥である時鳥です。

夏の訪れを知らせるその初音が和歌などにも多く詠まれており、芭蕉さんの句も20以上知られています。

そのうちの一つに『奥の細道』の旅の途中、黒羽の地で作った句があります。

田や麦や中にも夏のほととぎす

夏を鮮やかに彩る青田や金色の麦畑、それよりもいっそう季節を感じさせる時鳥の声に眼差しをむけています。この句は、のちに紀行文『奥の細道』としてまとめられた時には載せられませんでした。芭蕉さんの初夏に対する感性がよく表れています。

### 【問い合わせ】

- 文化交流課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619
- 芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219

## 忍者線（伊賀線）だより



### 緑色の忍者列車がない

忍者線（伊賀線）の踏切が鳴ると「何色の忍者列車が来るかな？」と予想したことはありませんか。忍者列車は、青色、ピンク色、緑色の3編成ですが、最近緑色の忍者列車を見かけません。なぜかということ、現在「車両の定期検査」を受けているためです。「車両の定期検査」とは、自動車の車検のようなもので、車両の安全性と信頼性を確保するために、車両の主要部分を取り外し、各部分についての検査・修繕を長期間かけて実施するものです。忍者線のすべての車両について、それぞれ4年のサイクルで検査を受けています。



検査を終えた緑色の忍者列車に会えるのは今年の秋以降。次に走っている姿を見かけたら、「おかえり！」の気持ちで乗車してみてください。

### 【問い合わせ】

- 交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

### 情報交流ひろば

## となりまち いが・こうか・かめやま

### 甲賀市

### 亀山市

### ～信楽のお土産をお取り寄せ～ 物産館・緋色の商店街 オンラインストア

NHK連続テレビ小説「スカーレット」の舞台、甲賀市信楽町にある物産館「緋色の商店街」では、オンラインストアでの販売が始まりました。

スカーレット公式商品をはじめ、信楽焼や朝宮茶など甲賀市のお土産をお取り寄せいただけます。



家で過ごす時間が増えている今、ぜひのぞいてみてください。

### 【購入方法】

- ①オンラインストアから
  - ②緋色の商店街インスタグラムダイレクトメッセージから
- ※詳細は緋色の商店街インスタグラムをご覧ください。



### 【問い合わせ】

- 甲賀市観光企画推進課ロケーション推進室
- ☎ 0748-69-2198 FAX 0748-63-4087

【問い合わせ】 甲賀市秘書広報課 ☎ 0748-69-2101

### ～お茶でほっと一息～ お茶時間を過ごしてみませんか

全国で3位の栽培面積・生産量を誇る三重県のお茶生産。亀山市は、県内有数のお茶所であり、緩やかな丘陵地帯の特性と、茶農家の優れた製茶技術によって良質な伊勢茶が栽培されています。



健康や美容に良いと言われる緑茶ですが、アミノ酸の一種であるテアニンには、心身の疲労を回復させるリラックス効果があり、ストレス緩和や睡眠の質を改善する効果も期待できます。

ご自宅で過ごすことが多かったこの時期に、おいしいお茶でほっと一息ついてみませんか？  
※詳しくは、三重茶農協直売所「茶気茶気」のホームページをご覧ください。お取り寄せもできます。

### 【問い合わせ】

- 三重県茶農協直売所「茶気茶気」
- ☎ 0595-82-0429 FAX 0595-82-3738



【問い合わせ】 亀山市広報秘書G ☎ 0595-84-5021